

行財政・医療福祉対策特別委員会

1 開催日時 令和8年8月7日（金） 10時00分～14時37分

2 開催場所 第三委員会室

3 説明員 総務部長、病院事業庁長および関係職員

4 議事の概要

（1）公立病院を取り巻く現状と県立総合病院の安定経営に向けて

参考人 社会医療法人 弘仁会 大島病院 事務長 村田 庄司 氏

委員からは、県立病院として最後の砦の役割を果たし、県民の期待に応える責務がある、屋根付き通路や入り口へのアクセスの良さは重要である、などの意見が出された。

（2）令和7年度病院事業の決算概要について

委員からは、コンサルタントから学んだことをベースに、職員のスキルが向上することを期待したい、総合病院が唯一提供している分野を強みとして打ち出すなど、総合病院のメリットを生かすことにより、守山野洲圏域に限らず、近隣の草津栗東地域でも遠慮なく取り組んでいくことも必要ではないか、などの意見が出された。

（3）滋賀県庁舎等のあり方検討について（中間報告）

委員からは、医療福祉拠点と県庁の間の県道について、賑わいづくりも踏まえ一体的な整備を検討してはどうか、屋上は絶好の観光スポットであるので有効的な活用や歳入確保の観点から利用料の徴収も検討していただきたい、などの意見が出された。

（4）「滋賀県行政経営方針 2023-2026」令和7年度における取組状況について

委員からは、広報の発信は、若い方の意見も大事にしていきたい、また、若い方が主体的に取り組むことで主権者意識の醸成にもつながると考えられるので根気強く続けていきたい、などの意見が出された。



委員会に配付された資料

- ・ 資料 1 公立病院を取り巻く現状と県立総合病院の安定経営に向けて.
- ・ 資料 2 令和 7 年度病院事業の決算概要について
- ・ 資料 3 滋賀県庁舎等のあり方検討について(中間報告)
- ・ 資料 4 「滋賀県行政経営方針2023-2026」令和 7 年度における取組状況について